

滋賀県看護連盟だより

滋賀

しが ● ● ● ● ● ● ● ●

第18号

平成21年9月発行

発行/滋賀県看護連盟 発行責任者/赤沼フサ枝
〒524-0037 滋賀県守山市梅田町2-1 セルバ守山101 TEL.077-514-1331
メールアドレス shiga-kangorenmei@extra.ocn.ne.jp



日吉大社の紅葉



看護の心を、
みんなの心に

目次

Contents

- ごあいさつ 滋賀県看護連盟会長 赤沼フサ枝 … 2
- 滋賀県看護連盟通常総会報告並びに特別講演報告 … 2
- 新役員のごあいさつ … 2
- 退任のごあいさつ … 3
- 第3回 ポリナビワークショップ in 東京に参加して … 3
- 日本看護連盟通常総会報告 … 裏表紙
- たかがい恵美子ホップ研修に参加して 裏表紙



看護基礎教育改革・新人臨床研修の 制度化が衆議院本会議で可決成立!

滋賀県看護連盟 会長 赤沼フサ枝

会員の皆様、日頃からの連盟活動ありがとうございます。

5月から7月にかけては各組織の総会が続きました。

今年は日本看護協会通常総会に引き続き日本看護連盟通常総会。そして滋賀県看護連盟通常総会と続きました。

日本看護協会・日本看護連盟の最重要課題であった「看護基礎教育改革」と「新人研修の制度化」の保助看法一部改正が本国会で可決されることを祈っての両会長のあいさつで始まりました。

この経過は、昨年12月8日に衆・参両議院の看護問題対策議員連盟会員代表による「看護の質と向上に関するプロジェクトチーム」を結成し、南野知恵子・あべ俊子の両議員が看護の現状を日本看護協会の詳細データに基づき熱心に説明をし、チーム議員にわかっていただく努力が実を結ぶかの瀬戸際でした。

そして、法案が満場一致で7月9日に可決成立したのです。(当県国會議員から「今可決成立した」と本会議場から連絡が入りました)

この保助看法改正は60年ぶり、みんなの待ち望んでいたことがやっと実現できました。現場で求められる高い能力の看護業務が、看護基礎教育3年では学びきれていない中で、新卒業者の離職を防ぐために、看護基礎教育の充実とともに、新人研修の制度化を国・県・施設・本人の協同で進めることで専門職の力をつける体制が整いました。

こうした看護界の課題に取り組むために、日本看護協会久常会長から日本看護協会通常総会後、南野知恵子先生の後任候補として、「たかがい恵美子」氏が紹介され、続いて本人の決意表明があり、会場には賞賛の拍手が響きました。



平成21年度 滋賀県看護連盟通常総会並びに特別講演報告

滋賀県看護連盟 副会長 井下照代

7月4日(土)、平成21年度滋賀県看護連盟通常総会が滋賀県看護協会看護研修センターにおいて、132人の会員が参加し開催されました。

総会では、経過報告、審議事項の第1号議案から第6号議案まで原案どおり全て承認されました。今年度の総会のポイントは、第6号議案の役員改選でした。赤沼フサ枝会長が再任され、来年の参議院選挙勝利に向けて戦う体制ができたことでした。また、これまで空席だった顧問に大西光代氏が就任され、勝つ組織づくりに弾みがつきました。

当日は、平林勝政國學院大學法科大学院院長・教授を講師にお迎えして「保健師助産師看護師法で看護職は守られているのか」と題してご講演いただきました。

保助看法31条1項及び32条の規定では看護師が「診療の補助」を業務独占しているにもかかわらず、看護業務を関係職種に委譲した結果、保助看法の業務が空洞化している現状や保助看法第5条の「療養上の世話」と「診療の補助」という抽象的な表現など、日頃、私たち看護職が問題に思っていることを取りあげて法学者・法律家としての視点からわかりやすくお話しいただきました。



新役員のごあいさつ



顧問 大西 光代

今度の看護連盟の名誉会員にご推挙いただきましたことは身に余る光栄に思っております。有難うございました。尚、滋賀県看護連盟の顧問という予期しない処遇にも身のひきしまる

気持ちです。

ところで今回の総選挙では、民意はやさしさ満載のマニフェストを選び、民主党の政権となりました。幸い看護の活動は社会の変動にかかわらず優しさや愛が不変だと思っています。この変動の社会にこそより確かな思いやりの看護・介護を実践するために次期代表の「たかがい恵美子」議員誕生に私は地域の輪をつないでいきたいと思っています。



監事 佐藤 敦子

看護職であれば良い看護をしたい、そして専門職として誇りをもって活躍したいと誰もが願うと思います。

私は、過去に看護連盟の役員を経験しましたが、この時、政治活動は専門職としての自律の証であることとをしっかりと伝えられなかったもどかしさを反省しております。

この度、平成21年度の通常総会において監事に就任することになりました。看護連盟の活動方針は、「ベッドサイドから政治を変える」～勝つ組織をつくりあげる～と方向づけられています。事業や活動内容の適性を真摯(しんし)に見つめ気持ちも新たに連盟の命題に熱く向き合い努力いたします。



甲賀地区支部長 林 佳世子
(甲南病院)

この度、甲賀地区支部長を務めさせていただく事になりました。会員になって2年目で何もかもが初めてで不安と緊張でいっぱいです。私自身が連盟の組織や看護と政治の関わりの大切さや必要性を知り、現場の看護を良くするために、政治活動を推進している事を1人でも多くの人に理解してもらえる様に努力していきたいと思ひます。よろしくお祈りします。



湖南地区支部長 堀河 良子
(済生会介護老人保健施設ケアポート栗東)

このたび湖南地区の支部長をさせていただくことになりました。微力ですが頑張りたいと思ひます。

今年は、政治が大きく変わる年です。

政治が変われば当然医療・福祉の現場にも大きな変化が押し寄せてきます。看護・介護の現場もどのように変わっていくのでしょうか。

近年湖南地区の会員が減少していると知りました。今こそ連盟の役割が大切なのではないのでしょうか。今後、皆様のお力を借り勤めていきたいと思ひております。よろしくお祈り致します。

退任のごあいさつ



済生会滋賀県病院 岡野 好子

平成21年度滋賀県看護連盟総会において、湖南地区支部長退任の承認を頂きました。長期に渡り役員をさせて頂きました。連盟の仕事は自分の時間を使い時間外にする事が多く、大変で奥深い仕事であったと思ひます。多くの人の協力が有って出来たと思ひ感謝の気持ちでいっぱいです。この仕事を通じて多くの友と出会いました。仲の良い友、大先輩とも出会い、この事が役員をしていた時の私の財産となりました。今後はいち会員として協力して行きたいと思ひます。

●尚、長年連盟の活動に貢献された佃和子監事、堀井芳章甲賀地区支部長が退任されました。

第3回 ポリナビワークショップ in 東京に参加して

豊郷病院 玉城 邦明



～看護維新～「過去から未来へ」と題して全国から若手看護師約300人が集まりました。看護連盟設立50周年、偉大なる先輩方の活動や活躍の功績を振り返り、時代にあった制度を改定と改正しながら現在の看護制度が確立されたことを知りました。それから私たちの給料の基準や手当、看護師が行う業務の内容にも政治・法律と密接に関わっていることを知り、看護にとっても政治が大切だということを再確認しました。看護も時代の流れや業務内容の変化に伴い大きく変化していたことをパリコレ風に紹介して大会を楽しく盛り上げてくれました。

東京都杉並区長さんからは現代の多くの若者はマナーが悪く、自分が良ければ他人はどうでもいいという考え方を持っていて、周りからも注意することが出来ない世の中になっている。そのため世界から見て日本人の評価が下がっている。どのような事が原因なのか実体験を通して話してくれました。今の日本は高齢者が頑張ってきたから今の日本があり、次の世代である私たち一人一人の言動がこれから新しい日本を築いていくのである。その言葉を聞いた時、自分だけが良ければいいという考え方を若者は見直す必要があり、自分も振り返った良い機会となりました。

そして現在、看護職代表として活躍されている、あべ俊子衆議院議員が若手看護職への激励と現状の医療界の問題を熱く語ってくれました。それから来年参議院から立候補される、たかがい恵美子さんが看護と政治への思いを語ってくれました。二人とも様々な問題（医師・看護師不足や診療報酬改定など）に立ち向かっている姿を見て凄く感動しました。より良い法律を築くことで国民の健康を守り、医療従事者を守ることをポリナビワークショップに参加することで再認識しました。

しかし、政治で議席を失くす＝意見は言えない、現状問題は何も変わらないといった事になってしまう。私たち（看護職）一人一人に何が出来るのか？改めて考えなければならぬと感じました。

最後にポリナビ恒例の「夢」「悩み」を話す時間があり、同じ世代の仲間や同じ悩み・問題（育児と仕事、ワークライフバランスなど）を抱えている仲間の姿を見て、自分もこれを機に頑張ろうと思ひました。また各地域との交流から多くを学び、考えていくうちに、多くの仲間が増えました。色々な交流、体験をすることで自分自身が成長すると思ひます。皆さんも是非参加して下さい。



境内は、東本宮と西本宮の2区域からなります。東本宮・西本宮ともに本殿は日吉造（ひえづくり）といわれる特殊な建築で、国宝です。このほか、石の橋で重要文化財に指定されたのは珍しいといわれる日吉三橋（ひよしさんきょう）、猿の彫刻のある朱色の西本宮楼門、山王の「山」という文字を表した山王鳥居など、重要文化財が多くあります。社殿は、大半が室町時代後期から江戸時代初期の建立です。

●日吉大社の紅葉ライトアップ

滋賀県随一の紅葉の名所として知られ、広い境内に約2500本ものモミジやカエデが植えられます。毎年11月の1か月間、日吉大社もみじ祭が開かれます。また、11月13日(金)～11月30日(月) 17:30～21:00までライトアップの予定もあります。

所在地
アクセス

滋賀県大津市坂本5-1-1

公共交通機関：京阪電鉄/石山坂本線「坂本駅」下車 徒歩 ・ JR湖西線「比叡山坂本駅」下車 徒歩 20 分
車：国道161号、下坂本6丁目交差点を西へ5分。京都東IC（名神）降りて、国道161号バイパス北上20分。
駐車場：普通車50台、大型車2台 料金：大人300円、小人150円 ※団体割引有り（30名以上270円、100名以上220円）

営業時間

9:00～16:30 定休日など 無休

お問い合わせ

宗教法人 日吉大社 TEL：077-578-0009

●写真・情報提供/（社）びわこビジタースビューロー

日本看護連盟通常総会報告

豊郷病院 外柙保 勇輔

去る5月29日に平成21年度日本看護連盟通常総会が東京で行われました。今の看護に皆さん満足していますか？そんな看護からの脱皮は看護師の共通の願いです。看護問題・環境について南野先生、また小泉元首相他多くの議員さんが応援してくださっている事を知りました。今回日本看護協会の前常任理事のたかがい恵美子さんが、南野先生の後任候補者として割れんばかりの拍手とともに紹介されました。特に印象的だったのは、決起大会の中で協会役員が席上で歌を歌い志気を上げられました。総会に出席し、日本看護連盟での役割等を多くの仲間に伝えられたらこれまで以上の力を発揮できるのではないかと思います。これらのことを皆様にもお伝えし、滋賀県看護連盟が未来に続く看護のために皆さんと、この看護の危機を乗り越えるために団結して頑張っていきましょう。今後の看護の未来を切り開き、創っていくのは、素晴らしい看護を知っている私達看護職者です。



たかがい恵美子ホップ研修に参加して

彦根中央病院 後藤 直樹



若者の交流会の場として時間を頂き、司会を担当しました。各医療機関から36名ほどの若者が参加し、若者の意見をたかがい先生に聞いていただき、政治の視点から助言していただきました。若者の意見では、給与や休暇等の待遇の問題や、人員不足や、診療報酬の問題があがり、みんな現場で感じている事は同じだと痛感しました。たかがい先生の話の聴き、現場の現状を国にあげていかなければ、制度は変わらず、そのためには現場を理解している看護職の代表者の政治家を、政治の場に送り出す必要性を感じました。私自身は正直、看護と政治が結びつかず、政治に対して関心が薄かったのですが、看護連盟の活動や、たかがい先生の活動を通して関心を持つようになりました。若者がそれぞれ自分の意見を言い、共感するこのような場は、活発な意見が出て有意義な研修であったと思います。今後もこのような場を作っていただけることを期待しています。



編集後記

朝夕涼しくなってきましたが、会員の皆さまいかがお過ごしですか？連盟だより第18号をお届けいたします。

政権交代した2009年の夏が、看護の世界に何をもたらしてくれるのか、じっくり見つめていきたいと思っています。

率直な現場の意見などお聞かせ頂けたら嬉しいです。



健康は快適な睡眠から～

いつもお世話になっております。

東洋羽毛では、羽毛布団のリフォーム・クリーニング
そして下取りも行っております。

お気軽にお問い合わせください！

滋賀県看護連盟推薦

TUK 東洋羽毛

東洋羽毛東海販売株式会社 三重営業所
〒514-0003 三重県津市坂橋3-67-13

☎0120-585-104

〔ホームページ〕<http://www.toyoumo.co.jp>